

2008～09年度改訂見通し

～輸出・消費等の下振れで、2年連続の1%割れに～

4～6月期の2次QEを織り込み、見通しを変更（若干の下方修正）。2009年度にかけ、以下の3点を背景に、景気は調整色の強い状況が続く見通し。

①輸出の増勢鈍化

中国・資源国向けは堅調を維持するものの、欧米向けの落ち込みにより、輸出の牽引力が大幅に低下。

②資源価格の上昇

足元落ち着きを取り戻している資源価格は再び上昇傾向に転じると予想。これに伴い、コスト増により減益幅が拡大する企業部門では、設備投資の減少ペースが拡大。家計部門では、所得環境の悪化と物価上昇による購買力低下が個人消費を下押し。

③住宅投資の下振れ

所得環境の悪化などを背景とする家計の住宅取得能力の低下、建設コストの増加などを背景に、建築基準法改正前の水準を回復できず、弱含み傾向で推移。

わが国の成長率・物価見通し

	2008年				2009年				2010年	(四半期・半期は前期比年率、%)		
	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	2007年度	2008年度	2009年度
	(実績)				(予測)					(実績)	(予測)	
実質GDP	2.8	▲ 3.0	1.6	0.8	0.9	0.6	0.4	0.3	0.4	1.6	0.7	0.6
個人消費	2.8	▲ 1.9	0.8	0.6	0.7	0.5	0.3	0.1	0.2	1.4	0.5	0.4
住宅投資	18.2	▲ 13.3	11.3	1.4	▲ 3.0	▲ 2.0	▲ 0.6	1.2	0.8	▲ 13.3	▲ 5.5	▲ 0.2
設備投資	▲ 0.5	▲ 1.9	▲ 0.4	▲ 0.8	▲ 1.9	▲ 2.3	▲ 2.2	▲ 1.6	▲ 1.0	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.8
在庫投資 (寄与度)	(▲ 0.7)	(▲ 0.1)	(0.2)	(▲ 0.0)	(0.2)	(0.0)	(0.1)	(▲ 0.1)	(▲ 0.1)	(▲ 0.0)	(▲ 0.1)	(0.0)
政府消費	▲ 1.9	▲ 0.2	1.2	0.9	0.6	0.5	0.3	0.2	0.3	0.7	0.4	0.5
公共投資	3.9	▲ 19.0	9.3	▲ 3.8	▲ 2.0	▲ 1.5	▲ 0.9	▲ 1.1	▲ 0.5	▲ 1.8	▲ 3.9	▲ 1.1
公的在庫 (寄与度)	(▲ 0.0)	(0.0)	(▲ 0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(▲ 0.0)	(0.0)	(▲ 0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
輸出	14.3	▲ 9.7	1.0	1.3	2.2	3.1	3.6	4.1	4.4	9.5	2.3	2.9
輸入	4.7	▲ 9.9	▲ 1.2	▲ 3.6	▲ 2.5	▲ 1.6	0.7	1.2	1.8	2.0	▲ 2.2	▲ 1.0
国内民需 (寄与度)	(1.3)	(▲ 1.9)	(0.9)	(0.2)	(0.2)	(▲ 0.2)	(▲ 0.1)	(▲ 0.3)	(▲ 0.2)	(0.3)	(▲ 0.0)	(0.0)
官公需 (寄与度)	(▲ 0.2)	(▲ 0.8)	(0.5)	(0.0)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(▲ 0.1)	(0.1)
純輸出 (寄与度)	(1.7)	(▲ 0.5)	(0.3)	(0.6)	(0.6)	(0.7)	(0.5)	(0.5)	(0.5)	(1.2)	(0.6)	(0.6)

	(前年同期比、%)									2007年度	2008年度	2009年度
実質GDP	1.2	0.7	1.0	0.7	0.2	1.0	0.7	0.5	0.4	1.6	0.7	0.6
名目GDP	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 0.7	0.8	0.6	0.7	0.2	▲ 1.0	▲ 1.3	0.6	▲ 0.0	▲ 0.3
GDPデフレーター	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 1.6	0.1	0.4	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 1.5	▲ 1.7	▲ 1.0	▲ 0.7	▲ 1.0
消費者物価(除く生鮮)	1.0	1.4	2.3	1.7	1.9	1.2	0.8	1.5	1.3	0.3	1.8	1.2

円ドル相場(円/ドル)	105	105	108	107	104	102	100	99	98	114	106	100
原油輸入価格(ドル/バレル)	95	109	122	105	114	122	131	139	146	78	113	134

(資料)日本総合研究所作成